

組織・プロジェクト変革推進時の利害関係者への「意識改革」具体的アプローチ【オンラインライブ】 (4126046)

本当の意味で意識改革・ムーブメントを進める能力開発（成長）を実現する方法を理論と事例、演習を通して修得頂きます。具体的には、「変わりたくても変わらない」という心理的なジレンマの深層を掘り起こす「免疫マップ」手法、そして、総論賛成、各論反対となるなか、変革を推進するため、「技術的問題」と「適応課題」を切り分け、組織の熱気・温度のコントロールの仕方を説明します。

開催日時	2026年8月21日(金) 9:00-16:00ライブ配信
JUAS研修分類	プロジェクトマネジメント(プロジェクトマネジメント)、ビジネススキル(チーム・リーダーシップ・指導力)
カテゴリー	IS戦略実行マネジメント・プロジェクトマネジメント ヒューマンスキル
DXリテラシー	Why(DXの背景) Mind(マインド・スタンス): 新たな価値を生み出す基礎としてのマインド・スタンス
講師	中谷英雄 氏 (株式会社ピーエム・アライメント 取締役 ビジネスコンサルティング部長) PMI認定PMP 2013年 米国PMI最優秀教育プロバイダー認定 スクラムアライアンス認定スクラムマスター (CSM) プロダクトオーナー (CSPO) <略歴> 1. BIPROGY (旧:日本ユニバック) (1983年~) 2. 三井住友信託銀行 (旧:三井信託銀行) (1990年~) 3. ピーエム・アライメント (2006年~現職) ・主に金融IT大規模プロジェクトのPMO支援に従事。 ・その後大学院でデザインマネジメントを学び、社会課題の解決、金融商品の開発等でデザイン、アート、顧客体験等を活用。 ・現在、新事業創出、デザイン戦略、イノベーションとDX推進に関する諸テーマを中心に、コンサルティング活動、教育活動を展開している。 <研究会活動> ・PM関連: PMIJ会員(アジャイルPM研究会会員、プログラムマネジメント研究会会員) ・イノベーション関連: JUAS (イノベーション研究会会員JIIP3) PMIJ会員(ソーシャルPM研究会) ・震災復興関連のNPO向けに、イノベーションプロセスの活用支援展開中 <PM関連書籍著> 監修 PMI 日本支部 「PMツールの実践的活用」プロジェクト 翻訳メンバー PMIプログラムマネジメント標準 第2版
参加費	JUAS会員企業/ITC: 35,200円 一般: 45,100円 (1名様あたり 消費税込み、テキスト込み) 【受講権利枚数1枚】
会場	オンライン配信 (指定会場はありません)
対象	プロジェクトマネージャー、プロデューサー、リーダーシップ発揮が要求されている方 中級
開催形式	講義、グループ演習
定員	25名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。(2時間1ポイント)
ITCA認定時間	6

主な内容

■受講形態

ライブ配信 (Zoomミーティング) 【[セミナーのオンライン受講について](#)】

■テキスト

開催7日前を目途にマイページ掲載

■開催日までの課題事項

特になし

さらに大人の知性をレベルアップしたPMになるために。

まずは第一歩！小さなムーブメントをあなたが起こす！

◆++++◆

組織・プロジェクト変革推進時の利害関係者への意識改革 具体的アプローチ
【オンラインライブ】

◆++++◆

デジタル技術の進展や市場環境の激変により、多くの企業は「現状維持では生き残れない」局面に直面しています。レガシー化・複雑化した既存システムの刷新と、IoTやアジャイルなど未知の領域への適応を同時に迫られる一方で、人や組織は本能的に変化を嫌い、抵抗や無関心が変革の大きな壁となっています。

こうした環境下でプロジェクトマネージャーには、権限や立場に依存するのではなく、自らが変化の起点となり、周囲の意識を変え、小さなムーブメントを組織内に広げていく力が強く求められています。

本講座では、「なぜ人と組織は変わらないのか」という心理的メカニズムを起点に、「免疫マップ」による内面の可視化や、「技術的課題」と「適応課題」の切り分けといった実践的手法を学びます。さらに、演習を通じて、孤立や抵抗が生じやすい変革現場においても協力者を増やし、意識改革を現場で実践できる具体的なアプローチを修得することを目的とします。変革を他人任せにせず、自ら一歩を踏み出したい方に最適な講座です。

現在、デジタル時代の技術要素を取り入れてムーブメントを起こす必要があるPM、あるいは、その技術要素を実現する上で必要となる様々な最新のフレームワーク（アジャイル、デザイン思考、リーンスタートアップ、ポートフォリオ、プロジェクトマネジメント、プログラムマネジメント、ビジネスアナリスト等）を適用する必要があるPMにとって必見の講座です。ご自宅からでもオフィスからでも、ぜひ、実りある参加型オンライン研修にご参加ください！

◆本講座の特徴

1. 何故、人と組織は変わらないのか、その本質を理解する。
(個人の行動や思考パターン、成長を妨げる心理的障壁、自己成長の道筋の見つけ方)
2. 個人・チーム・組織が、理論と事例、ケーススタディ（演習）を通して、ムーブメントを起こす意識改革を進める能力開発（成長）を実現する方法と他者とのコミュニケーションと相互理解の深め方を修得する。
3. ムーブメント・意識改革をチーム・組織に迫る人は、周囲から攻撃され、孤立は避けられない。その攻撃のリスクを軽減し、前進させる方法を理解し、また攻撃されても変革を進める意義を見出す。

◆内容：

第1章 なぜ、人と組織は変わらないのか

1. 1 免疫マップとは
1. 2 なぜ、人と組織は変わらないのか
演習1：ある優秀な部下の「免疫マップ」を作成する
演習2：その部下の「目標への道のり」を作成する
演習3：自律するとはどういう事かを理解する
1. 3 世界認識の方法が変わる
1. 4 人の知性に関する新事実
1. 5 知性の3段階の特徴
1. 6 成人の知性のレベルの分布
1. 7 どうすれば「大人の知性レベル」を上げることができるのか？
1. 8 自己変容型知性で問われる「人間力」とは？
1. 9 共鳴・共感で「発達範囲」を広げる支援をする
1. 10 組織内の「免疫システム」に対抗する
1. 11 なぜ、人と組織は変わらないのか（まとめ）

第2章 変革プロジェクトに求められるリーダーシップ

2. 1 変革とは、何を意味するのか？
 - 1) 変革プロジェクトのリーダーシップとは
 - 2) 変革の難しさ
 - 3) 総論賛成、各論反対、ヒエラルキーの中を進むリーダー
 - 4) 「成功体験が邪魔をする」の本質
 2. 2 変革推進上理解すべきこと
 - 1) 新しい「変化の科学」変革をサイエンスで捉える
 - 2) 変化が速い時代における戦略のアプローチ
 - 3) 企業文化と危機感を理解する
 - 4) 変革アプローチを選択する
 - 5) 「技術的問題」と「適応課題」の違いを理解する
- 演習4：「技術的問題」と「適応課題」を区別する（自分の経験を振り返る）

- 6) 不均衡の中で生き抜く
- 7) 組織の温度のコントロール
- 8) バルコニーの上から全体を見つめる
- 9) 変革の推進者は何に焦点を当てるか？

第3章 シェアード・リーダーシップ

3. 1 新しいリーダーシップが求められる背景
3. 2 チーム中心という理念
3. 3 リーダーシップをシェアするという考え方
3. 4 シェアード・リーダーシップの特徴

第4章 自分のリーダーシップスタイルを振り返る

4. 1 リーダーシップにおける自分の基準を見つける
4. 2 独りではやらず、助けを求める
4. 3 試して学ぶ

おわりに

- ・何を学んだか？
- ・何が活かせるか？
- ・遊び心を持って「新しいスタイル」を試してみる
- ・答えは、自分の内側にある

<参加者の声>

- ・変革におけるアプローチ方法や重要性について、文献や実例を踏まえ理解することができた
- ・業界や職種を問わず、変革は現代の企業に共通する重要なテーマだが、「人と組織は簡単には変わらない」という考え方に触れたことで、これまでとは異なる視点から物事を捉えることができ、大変有意義だった。